

平成 27 年 1 月 22 日

お客様 各位

サンケイ化学株式会社

サンケイトレボン®粒剤 登録内容の変更に関するお知らせ

拝啓 時下ますますご隆盛のこととお喜び申し上げます。平素は格別なご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

下記のとおり、平成 27 年 1 月 21 日にサンケイトレボン粒剤について使用制限となる登録変更が実施されました。

関係先へ周知くださいますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

対象となる農薬： 農薬名(商品名) サンケイトレボン®粒剤  
農薬の種類名 エトフェンプロックス粒剤  
登録番号 第 16985 号

登録変更の時期： 平成 27 年 1 月 21 日

登録変更の内容： (今回の使用制限変更にかかる部分のみ)

作物名「稲(箱育苗)」を削除

※適用表は、添付の別紙で、ご確認ください

登録変更の理由： 登録内容の登録維持に必要な試験成績整備に経費と時間を要するため

お問い合わせ先:サンケイ化学株式会社 営業企画部

電話:099-268-7588

トレボンは三井化学アグロ(株)の登録商標

以上

【変更内容(今回の使用制限変更にかかる部分のみ)】

作物名「稲(箱育苗)」を削除。

【適用表(今回の使用制限変更にかかる部分のみ)】

〔削除事項〕

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックスを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イネズゾウムシ	育苗箱 (30×60×3 cm) 使用土壌約 5L) 1箱当り 70g	移植 当日	3回以内	育苗箱の苗の上から均一に 散布する。	3回以内

「使用上の注意事項」より、以下の事項を削除。

(3) 本剤を箱育苗に使用する場合は次の注意を守ること。

- ① 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植すること。
- ② 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意すること。
- ③ イネ苗の葉がぬれている場合薬害が生じやすいので、葉に付着している露を払い落としてから薬剤を散布し、軽く散水すること。
- ④ イネズゾウムシ成虫の発生が多いと効果が劣る場合があるので注意すること。
- ⑤ 誤って過剰に使用すると葉先枯れなどの薬害を生じることもあるので、所定の使用量、使用方法を厳守すること。

(4) 育苗箱に本剤を使用した苗の移植をする場合は次の注意を守ること。

- ① 本田が砂質土壌の水田や、漏水田、未熟堆肥多用田の場合は使用を避けること。
- ② 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に行い、移植後田面が露出しないように注意すること。移植後は直ちに湛水し、極端な浅水、深水はさけること。また、深植にならないように注意すること。
- ③ 本田への移植後低温が続く、苗の活着遅延が予測される場合は使用をさけること。また、移植後極端な高温が続くと予想される場合も使用をさけること。